

横浜全国産学連携広域ネットワークが始動！

—地域（横浜）をプラットホームとする新たな産学連携—

（財）横浜企業経営支援財団（理事長 清水利光：IDECA）は、横浜市内企業の経営を支援する唯一の公的支援機関として、総合的・継続的な支援体制による事業を積極的に展開しており、昨年度には経営支援体制の充実・強化を図るため、3大メガを含む6金融機関と戦略的業務提携を締結し、ネットワーク「YESパートナーズ」を誕生させました。

また、IDECAは市内理工系9大学とのネットワークに加え、市内企業と全国の大学の「知」を結びつける産学連携広域ネットワークを展開してきました。これまで、市外大学（東海）、県外大学（早稲田、同志社、関西、関西学院、立命館、山口、高知、鹿児島、広島、金沢、岩手、帯広畜産）、海外大学（タイ：モンクット王ラカバン工科大学）と産学連携協定を締結しました。

このたびIDECAは、産学連携協定を締結した大学と横浜企業支援のため、ネットワークの充実・強化を図り広域連携のさらなる発展に向けて各種事業を強力に推進する組織「横浜全国産学広域連携推進会議」を本日誕生させました。

1 名称

横浜全国産学広域連携推進会議（事務局：横浜企業経営支援財団 経営支援部）

2 発足日

平成22年2月1日（月）

3 目的

横浜市内大学及び全国の大学の優れた研究シーズを活用し横浜企業の永続的な事業活動を支援します。大学の所在する地域の企業と横浜企業間の連携を推進します。

4 活動内容

IDECA、横浜全国産学広域連携推進会議構成大学、横浜企業、地方企業、コーディネーターが有機的に連携しながら、共同研究開発、ビジネスマッチングの機会を創出します。

（1）テクニカルショウヨコハマ産学連携コーナーへの出展

- ①IDECAの運営する同産学連携コーナーへの出展、ワークショップでのシーズ発表
- ②テクニカルショウヨコハマ 2010 へは構成メンバーである神奈川、関東学院、慶應、東工大、東京都市、横浜国大、横浜市大、東海、岩手、山口、広島、高知、鹿児島の13大学が出展します。

（2）横浜全国産学広域連携推進会議リエゾンポート（仮称）の開催（年一回）

- ①横浜企業向けのポスターセッションの開催
- ②コーディネーター会議の開催

（3）重点テーマに基づいた、産学交流サロン、研究会の開催

（4）共同研究開発、ビジネスマッチングの推進

（5）地域間プロジェクトの推進

産産学連携：大学を介した横浜と地方企業の連携を積極的に図ります。

- ①墨田プロジェクト（早稲田大学）—早稲田大を介してIDECA、墨田区双方の経営者塾参加者による人材育成システムの運営
- ②長州ファイブプロジェクト（山口大学）—IDECA、山大を介した産産連携（平成21年8月第一回開催）
- ③十勝のめぐみプロジェクト（帯広畜産大学）—IDECA、帯畜大を介した食材・加工食品分野での産産連携。第一回は本年3月2日（火）に商談会を開催。
- ④土佐プロジェクト（仮称）（高知大学）—IDECA、高知大を介した産産連携

（6）テレビ会議システムを通じた各大学との定例コーディネーター会議の開催

4 会議の構成

IDECAが事務局となり、IDECAの連携大学を構成メンバーとします。

			大学名	所在地
市内連携大学			神奈川大学	横浜市神奈川区
			関東学院大学	横浜市金沢区
			慶應義塾大学	横浜市港北区 本部:東京都港区
			鶴見大学	横浜市鶴見区
			桐蔭横浜大学	横浜市青葉区
			東京工業大学	横浜市緑区 本部:東京都目黒区
			東京都市大学	横浜市都筑区 本部:東京都世田谷区
			横浜国立大学	横浜市保土ヶ谷区
			横浜市立大学	横浜市金沢区
広域連携大学	地方国立大学	北海道	帯広畜産大学	北海道帯広市
		東北	岩手大学	岩手県盛岡市
		北陸	金沢大学	石川県金沢市
		中国	山口大学	山口県山口市
		四国	広島大学	広島県東広島市
		九州	高知大学	高知県高知市
			鹿児島大学	鹿児島県鹿児島市
	私立大学	関東	早稲田大学	東京都新宿区
			東海大学	神奈川県平塚市 本部:東京都渋谷区
			同志社大学	京都市上京区
		関西	立命館大学	京都市右京区
			関西大学	大阪府吹田市
			関西学院大学	兵庫県西宮市

総計 13 校(市内 9 校 広域:地方国立 7 校、私立:関東 2 校、関西 4 校)

5 平成22年度重点テーマ

平成 22 年度においては下記を成長戦略テーマとして横浜企業に提案します。

No.	テーマ	プロジェクト	技術	参加(想定)大学、研究機関等
1	横浜アグリフード(農商工)	◎新食材・加工食品の開発及び販路開拓	新たな素材を利用した食品開発、新機能食品、	関東学院、横浜市大、帯広畜産大、岩手大、東海大、金沢大、関西大、広島大、山口大、高知大、鹿児島大
		◎新農業生産システム	植物工場、施設園芸、同栽培技術	(理研、筑波大、弘前大、千葉大)
		◎食品トレーサビリティシステム	米粉、鶏卵、製麺トレーサビリティ、同位体分析	(北海道大学、農研機構)
		◎医農商工連携、食育		高知大学
		◎飼料・バイオマス		帯広畜産大、鹿児島大
2	難削材加工技術	◎医療用製品の開発－生体材料(人工関節、インプラント等)、航空宇宙製品の揮発－機体、部材、エンジン等	切削	横浜国立大、岩手大、山口大、(金沢工業大)
3	デザイン工学	◎文化遺伝子活用－横浜固有のデザイン(例えばスカーフデザイン)を活用し製品デザインに応用する。	画像認識、デザイン抽出、データベース化技術、3次元折り紙工学、3D グラフィック技術	東京工業大学、(創造学園大学)
4	機械加工	◎機械加工技術連続講座	金型、鋳造、プレス、板金、溶接、切削、メッキ、表面処理、プラスチック加工	◎岩手大学連続講座 ◎横国大、東工大、慶應、山口大、立命館、関西大
5	センサ制御技術	◎先端センサ技術	ヒューマンセンシング、セキュリティ分野センシング、MEMSセンサ、バイオメトリクス技術、センサネットワークの技術と応用他	全ての連携大学
6	ヒューマンインターフェイス(人間生活技術)	◎医療・福祉・生活支援	生体情報計測、テレハプト、リハ工学、ヒューマンセンシング	横浜市大、高知大
		◎情報家電 ◎交通システム◎住空間 ◎ユニバーサルデザイン		慶應大、横浜国大、東工大、関西大、関西学院大学、同志社大、立命館、山口大
7	脱温暖化対策	◎省エネ技術(スマートグリッド他) ◎二次電池等技術開発 ◎再生可能エネルギー導入技術(バイオマスエネルギー等)		東工大、慶應、横浜国大、同志社、立命館、山口大、広島大、帯広畜産大

※ 括弧内大学は非連携大学、色塗りは一部事業稼働

【参考】

1 横浜全国产学連携広域ネットワークの考え方

横浜市内企業(10.7 万事業所)の成長・発展のために

I DECはこれまで、市内大学と産学連携に力を注いできたが、市内経済及び企業を取り巻く環境は大きく変化し、環境・エネルギー・バイオアグリビジネスなど新しい産業・分野に対するニーズが高まっている。

しかし、市内理工系 9 大学は、農学部・水産学部・畜産学部・薬学部などを有しておらず、新たな分野への対応を進めるため、市内大学には無いシーズを有する地方国立大学との連携を平成 20 年度(2007 年)から進めてきた。

地方国立大学は横浜市内企業(10.7 万事業所)との連携を期待する地区の大学とし、横浜市以上に企業を有する大阪市の近畿地区及び名古屋市の中部地区を除く 6 地区と連携を強めた。

地方国立大学は地区別に 1 校以上と連携を進める体制を目指し、北海道・東北・北陸・中国・四国・九州地区の国立大学と提携を行った。

また、市内経済活性化に向け、横浜・東京・関西の経営者を多く輩出している有名私立大学の色々な経営者層やO Bとのネットワークを生かすため関東・関西の有名私立大学との提携を行った。

2 全国提携図

